

岡本議員

10号の4頁ですね、債務負担行為補正というところで547万3000円上程されています。それでこの件についてなんですけれども、これフォーラム形式でやるというご説明だったんですが、あのこのリニア問題ですね、町長にお聞きしたいと思いますが本来町長と担当者でまず町民に説明をして話し合いをすれば済むことではないのか。これ説明会、説明もしていないのになんでこれフォーラムになるのかというふうな疑問を持ちます。説明会をやって、説明事項を巡って話し合いをすべきことだと思います。そして説明と議論は別なんじゃないですか。その上でフォーラム、専門家を交えてフォーラム、と言うのであればまだ話は分かるんですけども、説明と議論は別ということで、説明するのにお金は町の、町長と担当者さんと職員でやれば済む話だと思うのでお金はかからないことだと思うんですけども、まずそのことについて町長はどのようにお考えなのかということを一、質問いたします。

渡邊町長

先日の全員協議会等でもご説明した通り、この2年間とにかくコロナ対策をどうするかということでも明け暮れています。特に行政が人を多く集めるようなことを主催してということは非常に難しいと考えています。町内のイベントについては今日から全て中止というふうにしています。岡本議員が責任を持って集めていただいて、結果も岡本議員が責任を取ってくれるのなら、私はいつでも行きます。その代わり、職員は出させません。そういう条件なら、何回でもやります。

私は上之郷でも随分、具体的な説明はしたはずですが。暗渠排水はどうなるのか、シートが紫外線に当たらなければ劣化はしないとか。いろんな説明をしてありますので、そこで降りたとは思っておりませんが、現状を考えていただければ、スケジュールを組んで説明会を開くというそういう状況に無いというのは岡本議員もひしひしと感じておられると思いますので、状況が落ち着いたら必ずやります。私自身も毎年5月ごろに町政報告会議というのをやっていますけれど、この2年、やれていません。本当に残念です。社会がもう少し落ち着けば、必ずやっていかなければいけないというふうに思っていますので、その辺はご理解いただいて、今の時間、この時期にやるっていうのは計画が立たないということ、しっかりと先日もお答えをしました。全員協議会で。同じ質問ですので同じ答えです、ということです。以上です。

岡本議員

状況が落ち着いたら必ずやるとおっしゃいましたので、これはこの今回のオミクロンですね、コロナ、町の非常緊急事態宣言ですか、それが治まった、終わったらこの説明会についてはやるということですよね。それと町長、この間の全協の話の中でも、これちょっとフォーラムとはまた別の話なんですけど、町長は科学的根拠を、納得された科学的根拠を住民に説明するというふうにおっしゃってしまして、それ私この間の全協でも言ったんです

が町長は紙ベースでもいいのかというふうに聞かれましたね。私、紙ベースでもその件については、住民への説明はちゃんと口頭でやって頂きたいと思うんですけどその件については紙ベースでいいと思うので、それならコロナの今の状況であってもできると思うのでそれはやっていただけるのでしょうか。

渡邊町長

まず1点は、紙ベースではまず受け入れた理由というか受け入れに向けて協議を始めることにしたという説明の中に、町長の月記のほうに書かせていただいたと思っております。本当に欲しいのは、安全性をどう高めていくかという具体的な専門家の話を欲しいというふうには思っていますので、それでも聴きながら、住民に対しては説明をきちんとしていく。逆に言えば、住民の方からこういうふうにしてくれっていう要望があれば、当然私は御嵩町長ですのでJR側にきちんとお伝えしていくということになっていきます。基本的には廃排出者責任ですからそこで処理をしたいと言うんならJR東海が本来努力するものでありますけれど、国策事業ですので、御嵩町だけは「うん」といっても仕方が無いなということは思っておりますので、まずは受け入れを前提にという言葉は私は使ったものですから、それ以降議論が出てきたんじゃないですか。2年間、他の時に質問されたけど、結論に導いていくような質問は一切無かったです。誰かに相談をするって言って誰かが答えを与えてくれたか、それがあったのかと言われると全くありませんので、独断と言われても私が矢面に立ったのを気になってもいけないことだなということは思っておりますけれど。そこで説明責任を果たさない状態っていうのは勿論よろしくないわけです。しっかりやっていきたいと思っています。

紙ベースのものはまた考えながら、どれだけのボリュームになるかはわかりませんが、出していきたいとは思っております。

岡本議員

(マイクが音を拾わず、聞き取り不可)この前に町長が説明会をやると言われましたのでその件に関してですが、あの今までに現場の地図とかそういった具体的な資料って一度も出ていないのでとにかくそういったこれから説明会をされる中で是非そういった資料を出してきていただきたいということをお願いしたいと思います。

町が説明すれば済むことになんでこんな税金を使わなきゃいけないのかっていうところで、本当に何人かの方にも話をした中で非常に皆さんこのフォーラム形式だからといって皆さんが諸手を挙げて賛成しているなんてことは全くないんですけども、しかし私はまあこれでこういう場もあってもいいのかなということで賛成したいと思いますが、以上で質問ではありませんが終わります。

渡邊町長

先ほど申し上げたように、これは本来排出者責任である、JR 東海が質問に答えていくような内容であるかと思えます。私ども素人ですので、これ以上ありませんから、行き詰まるどころが必ずありますし、科学的な根拠と言われても、化学式のようなものになってきたら答えられるわけないわけですので。今、全体的に国の中で行われているものと比較しても最高の安全体制が施されるということは私はおおむね理解していますけれど、私の説明では多分足りないと思いますから専門家のほうからも本来お答えをいただけるといいんですけど、専門家もあまりこういうことに積極的ではないというのは事実のようでありますので、大変今やっているところであります。また、議員の皆さんからも JR 東海と話をする場を設けるっていうのは決して無駄なことではありませぬので、現役議会としてお申し込みがあれば説明会を開く。それに対して住民に報告していただければいいですので、やれることは議会にもあると思っています。よろしくお願ひします。

安藤 (雅) 議員

先日の全協で町民との合意形成が不可欠であることから、検討会議については町、JR 東海のほか、町民が誰でも議論に参加できる町民参加型のフォーラム方式による開催を視野に入れつつ検討するというご説明をいただきました。コロナ禍でなかなか大勢を集めての説明会が難しく今まで住民に情報が届いていきにくかったことを考えればこういう手法をとってもきちんと知る住民が増えていくということはあるがたいことだと思います。

なるべく多くの住民に、町民にきちんとお知らせることが必要であると私は考えております。このコロナ禍、早急に終わるとは考えられませんので町民参加型のフォーラム方式を開催されても、いずれ人数の制限などあるかと思えます。町民へのフォーラムでの話し合いの周知の方法とか、町民からの意見の吸い上げ方法などどのように考えてるか教えてください

山田課長

周知方法という点でございませぬけども、今も町で活動しています町内回覧であったり SNS であったり HP であったりで周知を図っていきたいと考えております。意見の集約ですけれども、ご都合とかでご来場頂けないとかですな、やっぱりコロナ禍である中でひよっとすると人数の制限もあるかと思えますけれども、今動画配信とかも考えておまして、ご来場できなかった方の意見を吸い上げたいと考えています。またご説明した通り年6回ですので、質問を吸い上げる、動画配信見られて質問を受け付ける期間は取れるものと思っていますのでそのようにして声を聴いていきたいと考えております。

安藤 (雅) 議員

いずれにしてもこの点に関しては不安に思ってみえる町民の方も結構あるかと思えます。極力その不安が少なくなるように丁寧な説明と答弁を町民に伝えていっていただき

たいと思います。以上です。

清水議員

私もフォーラムに関する確認ですけど、このフォーラムに関して町長がこのフォーラムにどういうふうに入っていくのか、関わっていくのか。諮問機関であるのか町長のパネラーって言い方が正しいかわかんないんですけど、そういうふう発言する立場で出られるのかお聞きしたい。というのは、やはりこのフォーラムに関して町長がどのように感じたかっていうことを常に知りたいって町民の方がこれはありますのでその点を確認をしたいです。

山田課長

専門家とJRとは壇上で議論するだけのものではなく、当然町長も加わって、パネラーとしてますけれど、そのイメージをしております。当然そこで町長に住民の方が質問あればお答えすることになると思いますし、町長も加わって協議すると考えております。また、全員協議会にてご説明いたしました以上のことを今担当レベルでも協議しておりますし、行政よがりにならないように契約後に委託先の民間ノウハウを活かして具体的に決めていきたいと考えております。とにかく、今後のJRの協議をいかに多くに行えるか、住民の皆様の声を聞くことができるのかを考えた上での今回の補正でありますので何卒ご理解ください。

谷口議員

先般の全員協議会が私ちょっと体調不良で欠席をさせていただきましたので、詳しい内容が分かりませんが、確認をここで3点ほどさせていただきたいと思いますが、今回のですね、あの検討会議の設置、そしてその審理状況に応じてフォーラムの設置をしながら住民理解を得て適正化を測っていくという方向性っていうのは、私は非常に良い方向だと思っております。基本的に。ただ、問題なのは、まずこの協議会ですが、この協議会はあくまでも町が最終判断していくための参考資料の連想を目的としたものであるのか協議会自体が例えばJR等々と検討協議というようなことで実質協議っていうのを協議会がどの程度権能を持っていくのか。そこには町はどのような立ち位置になるのかその辺のところ若干ちょっと分かりにくいかなと思っておりますのでその辺のところ。一番大事なのは町長の諮問委員会であろうと第三者的な協議会であろうとこれが大義名分になって隠れ蓑になって政策決定に大きな影響を及ぼしていくっていうことは味気ないと思います。主体はあくまでもこれは、御嵩町はどうするのか、町長は最終的にどう判断するのか、これ責任の所在の問題がありますので、その辺のところがこの会議の位置づけとその許容範囲、権能ですね、これがもし分かれば教えていただきたい。

それから、今回、アドバイザー業務、並びに支援業務含めて576万3000円という補正、いわゆる債務負担行為が含まれておりますけれど、フォーラム形式については、これはおそ

らく検討会議の中で十分協議されて検討された中でそういうものをある程度の段階でフォーラムを結成していくと。いわゆるフォーラムを開くというようなことになるかと思いますが、このフォーラム方式を導入するというのは、時期的にはどういう構想をこの段階で考えておみえになるのか、その点をちょっと教えていただきたいと思います。

それから、最後になりますが、この町として一般財源で、547万の債務負担をかけるわけですが、最終的にはこれはあくまでも町財源で最終処分していくのか、この辺の経理ってというのはJR東海、事業主体に対して財源補填を訴求できるのかどうなのか、その辺のところこの3点であります。もし分かれば教えていただきたいと思います。

山田課長

検討会議の決定ということを書いてみえるかと思いますが、最終的には町が判断することになると思いますが、検討会議ではやっぱり町のもあるでしょうし、住民さんのご懸念ということはもちろんJRに確認していくという場にしたいと考えております。その競技ですが、あくまでも検討会議は検討会に別にやってフォーラムを企画するのではなくて、フルオープンということで最初からフォーラム形式でJRからも聞いて、そこで確認したということであるべく内輪の協議はやらないってスタンスで、フォーラムで、この検討会議自体をフォーラム形式でやっていくというイメージでございます。また、財源につきましては、町の説明責任ということでどちらにしても町が手放しにできないというか、町がやっていかなければいけない、職員がやっていかなければならないというところで、職員はそこまでスキルがないのでそこは支援してもらうという体制でございまして、JRから補填ということになりますと、やはり協議の中立性にもひょっとしたら懸念が出てくるかなというところで、これにつきましては町負担で行う予定としております。

谷口議員

今の説明ですと、このフォーラム形式を持って検討会議を開いていく、というような説明に聞こえたんですけども、フォーラム形式、いきなりこのフォーラムの形式を持って今公開でやっていくわけですか。この検討会議ってというのは、その辺はどうなんですか。いや、その辺をはっきりしておかないとかなり誤解を招きますよ。

山田課長

やっぱりテーマとしたいかに多くに仕事なく観点でございまして内輪でやらずにフォーラムというやり方を検討しているところですので、そのようになるべくいきたいと思いますけれど、その辺は民間と契約後に、さっきもお話ししましたけれど、行政よがりにならないように民間という視点で、ノウハウを活用して決めていきたいと考えていますのでよろしく願いいたします。

谷口議員

わからんでもないんですが、そうすると、検討会議っているのは位置づけはどのような形なんでしょうか。あくまでもこれはフォーラムを施行していくための、メンバーを集めるだけの意味でしかないんですか検討会議っていうのは。そうじゃないんでしょ。これ、JR 東海との詳細な協議をする必要があることから、御嵩町に、専門的な見地からの助言等を目的とする検討会議を役場内に設置すると言っとるんでしょこれ。その辺のメリハリだけ、きちっと、いわゆる組織論ですけれども、組織的にきちっとすることと、運営、フォーラム形式っていうのはあくまで、今後の運営の方法。住民参加の、住民との共同参画の中でどのような形の会議を持っていくかという一つの手法であって、組織論と手法論は全く違うんで、これを全く一つで混同して回答もらっているんですが。これはちょっとおかしいんじゃないかと思うんですが。町長、これどうなんですかその辺。きちっとした整合性のある説明をしていただければありがたいと思うんですが。

渡邊町長

産廃処分場の三者協議がありました。三者協議自体はオープンではありませんでしたけれど、利用指針検討委員会っていうのを御嵩町の保健センター3階で何回も行いました。それは、住民傍聴可能な状態で、開かれた形で行いました。フォーラムというと、あんな大きなものをイメージされますけれど、そうしたオープンな場を数多く用意して協議、専門家と議論している、協議している内容をしっかり聞いていただくと。そのうえで、住民の方から質問があるのであれば、できるだけ事前に、文書だけ出していただけると、これについてじゃあ考えよう、ということをお話する場であるというふうに解釈しています。私もフォーラム形式で傍聴している一人のほうがいいんじゃないだろうかということも思っていますけれど、こんないいところが、学者の先生もおみえになって、多分その中で司会進行というか会場集まってということになると思いますので、その方とお話をしながらとにかく隠さない。そして明確に伝える、そういう委員会のようなものをしていきたい。最終判断としては、受け入れるのを前提としてと言っておりますけれど、マストの要求は必ずあると思います。要望そのものが受け入れられない場合はノーという答えに行き着く場合もあります。そこはもうしっかり議論していただいて、ただ、一人や二人のやかましい人が言ったことが実現できていないからそれは駄目だ、という話ではありません。科学的根拠に基づいて、そのうえでJR 東海の真摯な回答を望んで行くと。これを認めてもらわなければ駄目だねということも出てくるかもしれません。そういうことを一つずつ丁寧に議論をしていただく。それを住民側にもオープンにしていきますし、私もしっかり聞いていくと。私から質問があれば私のほうからも質問書のような形で出すと。そこで議論していく。客観的にやっていただくということになると思います。

先ほど課長の方から答弁しましたけれど、やはりこれは経費がかかるのは事実であります。それも知らせろとかいろいろ科学的に証明しろって言われればお金はかかりますよ。た

令和4年御嵩町議会第1回臨時会
1月21日(金)AM9:00～

未定稿 (御嵩町役場企画課作成)

だそこでスポンサーがJR東海ではまずいでしょって話です。そこをやらないと、しっかりしておかないと、もう学者の方々っていうのは大体関わってみえることは多いので、ここは違う土地だということでそういった方々をちゃんと探してやっていきたいというふうに思います。まあ住民代表といっても、市民運動家のような方を入れるつもりではありません。議論にならないような状況ができてしまうので、議会の中、例えば収集していただいて代表として出ていただくとか。そういうことも考えていきたいというふうに思っています。